



追加型投信 / 内外 / 債券

三菱UFJ / AMP グローバル・インフラ債券ファンド 〈為替ヘッジあり / 為替ヘッジなし〉(毎月決算型) 愛称: 世界のいしずえ

～インフラ債券を取り巻く環境と今後の見通し～

ファンド情報提供資料
データ基準日: 2017年3月31日

平素は「三菱UFJ / AMP グローバル・インフラ債券ファンド〈為替ヘッジあり / 為替ヘッジなし〉(毎月決算型) 愛称: 世界のいしずえ」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

2017年3月末にAMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドのアクティング・ヘッド・オブ・クレジットであるスティーブン・ハー氏が来日し、インタビューをさせていただきましたのでレポートを作成いたしました。

今後とも引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

※本資料は、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッド スティーブン・ハー氏のコメントを基に三菱UFJ国際投信が作成しています。

まとめ

1 米国の利上げがマイナスに影響する可能性は低い

2 インフラ需要は、増加する見込み

3 新政策による恩恵を享受できると考えられる



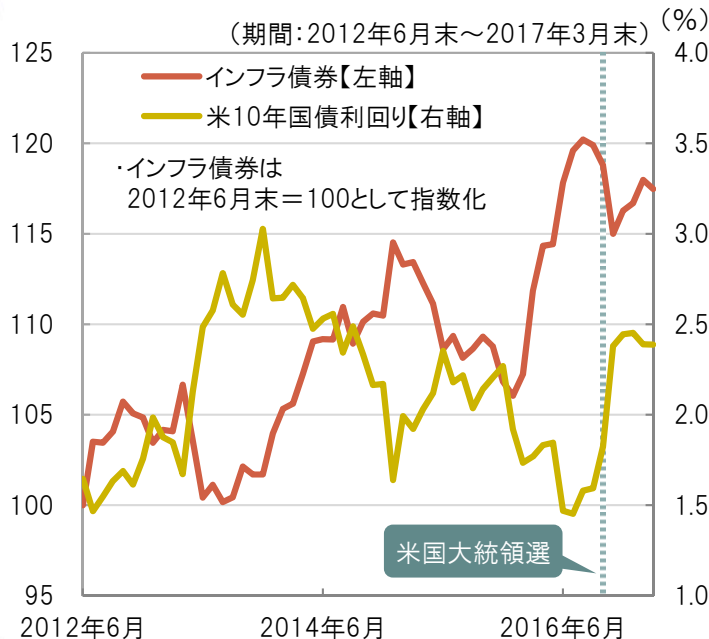
AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッド
アクティング・ヘッド・オブ・クレジット
スティーブン・ハー氏

1 米国で政策金利が引き上げられましたがインフラ債券への影響は？

米国では、雇用環境が良好であること等を受けて2016年12月に続き、2017年3月に利上げが実施されました。加えて、2016年11月の米国大統領選でトランプ大統領が選出され、財政拡大や景気刺激策等を背景としたインフレの高まり等から、米10年国債利回りはそれ以降0.6%近く上昇していますが、インフラ関連企業が発行するインフラ債券は堅調に推移しています。その背景には、インフラ関連企業が、①景気動向の影響を受けにくいディフェンシブな特性を持っていること、②長期にわたって安定的に利益を生み出す傾向がある、という特徴を有していることがあったと考えられます。

なお、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドでは今後12カ月間では、米国で2回の利上げを見込んでいます。また、今後の予想される利上げが米国市場で織り込まれつつあることから、2016年11月の米国大統領選以降にみられたような米10年国債利回りの急激な上昇はないと考えています。そのため、インフラ債券に対してマイナスに影響する可能性は低いと考えられます。

米10年国債利回りとインフラ債券(米ドルベース)の推移



(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

■ 上記は指数を使用しており、ファンドの運用実績を示すものではありません。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。上記は、過去の実績・状況、作成時点での見通しまたは分析です。これらは、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮していません。

三菱UFJ/AMP グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジあり/為替ヘッジなし>(毎月決算型)
愛称:世界のいしずえ

2

米国におけるインフラ需要の見通しは？

トランプ大統領は、主要な政策のひとつとしてインフラ投資を挙げており、今後10年間で約1兆米ドル規模で実施するとしています。特に、トランプ大統領は、「キーストーンXL・パイプライン」等のエネルギー関連のインフラ建設を推進する大統領令に署名する等、オバマ前政権で環境保護の観点から凍結されていた建設プロジェクトが再開される見通しとなっています。しかし、新政策の実行についてははまだ不透明な部分も多く、今後の動向には留意が必要となります。

一方で、米国では現存しているインフラの老朽化が問題となっています。全米土木協会が4年ごとに公表する「米国のインフラ資産に対する評価」が前回調査時から改善しておらず、今後10年間で必要とされる米国インフラ補修額は約4.6兆米ドルで、トランプ大統領が掲げる1兆米ドルを大幅に上回ると試算されています。日常生活に必要不可欠なインフラの補修は米国において急務であり今後インフラ需要は拡大すると考えられます。

米国のインフラ整備調査結果

| インフラ | 2013年評価 | 2017年評価 | 変化 |
|---------|---------|---------|----|
| 航空関連施設 | 悪い | 悪い | → |
| 橋 | 可+ | 可+ | → |
| ダム | 悪い | 悪い | → |
| 飲料水 | 悪い | 悪い | → |
| エネルギー関連 | 悪い+ | 悪い+ | → |
| 有害廃棄物 | 悪い | 悪い+ | ↑ |
| 水路 | 悪い- | 悪い | ↑ |
| 土手・堤防 | 悪い- | 悪い | ↑ |
| 公園等 | 可- | 悪い+ | ↓ |
| 鉄道 | 可+ | 良い | ↑ |
| 道路 | 悪い | 悪い | → |
| 学校 | 悪い | 悪い+ | ↑ |
| 固形廃棄物 | 良い- | 可+ | ↓ |
| 公共交通機関 | 悪い | 悪い- | ↓ |
| 汚水処理 | 悪い | 悪い+ | ↑ |
| 港湾 | 可 | 可+ | ↑ |
| 平均 | 悪い+ | 悪い+ | → |

・非常に良い、良い、可、悪い、不可の5段階で評価しており、「+、-」の付加記号が付されることがあります

(出所)全米土木協会の資料を基に三菱UFJ国際投信作成

3

各セクターごとの注目点を教えてください。

当ファンドでは、公益(電力・ガス・水など)・通信(携帯電話など)・エネルギー(石油など)・運輸(空港・道路・鉄道など)の4つのセクターに投資しています。それぞれの注目点は以下の通りです。

エネルギー

エネルギーセクターは、原油価格の緩やかな上昇により企業財務面が改善されるとみえています。また2018年以降、原油や天然ガスの生産量は増加する見通しであり、同セクターはトランプ大統領のエネルギー政策の恩恵を享受できると期待されます。



通信

通信セクターでは、業界再編に伴う水平統合やM&A(企業の合併・買収)等が期待されており、同セクターにおける資金調達需要が増加することが期待されます。



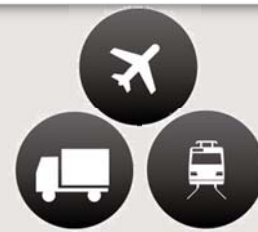
公益

公益セクターは、規制事業を主とする公益企業を取り巻く環境は引き続き安定していることに加え、トランプ大統領の規制緩和政策が企業業績に対して追い風となることが期待されます。



運輸

運輸セクターは、今後米国の経済成長に伴った石炭・材木等の需要の高まり等から回復が見込まれています。



■ 上記は、過去の実績・状況、作成時点での見通しまたは分析です。これらは、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

三菱UFJ/AMP グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジあり/為替ヘッジなし>(毎月決算型)
愛称:世界のいしずえ

当ファンドの運用状況(2017年3月31日時点)

分配金実績(税引前)、1万口当たり

| 為替ヘッジあり | 2012年9月～2017年3月 | | 設定来累計 |
|---------|-----------------|-----------------|--------|
| | 各30円 | | 1,650円 |
| 為替ヘッジなし | 2012年9月～2017年1月 | 2017年2月～2017年3月 | 設定来累計 |
| | 各30円 | 100円 | 1,790円 |

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

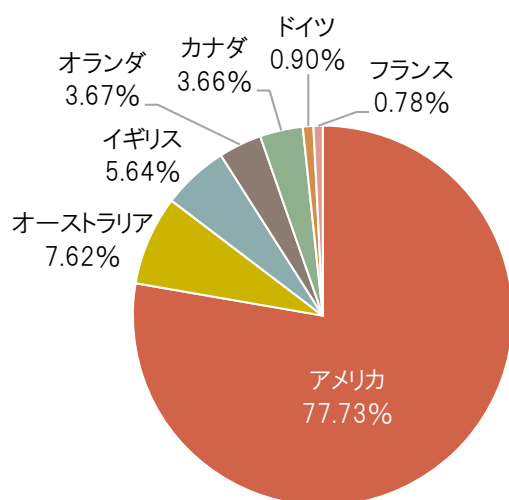
最終利回り・デュレーション・平均格付

| | |
|---------|-------|
| 最終利回り | 3.61% |
| デュレーション | 7.91年 |
| 平均格付 | BBB+ |

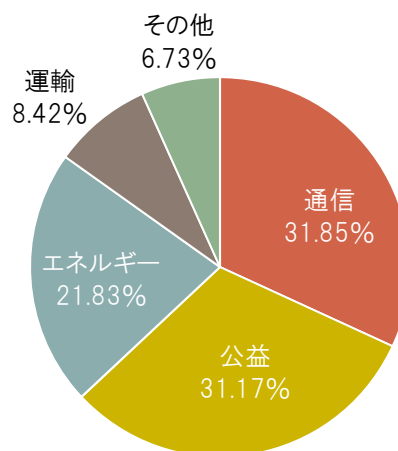
- ・データはAMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドより提供された運用ポートフォリオベース(債券先物を含む)のものです。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・格付の表示にあたっては、S&P社、Moody's社、フィッチ・レーティングス社の3社のうち2番めに高い格付を採用します。2社の格付のみの場合には、低い方の格付を採用、1社の格付のみの場合にはその格付を採用します。

平均格付とは、基準日時点で当該ファンドが保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該ファンドに係る信用格付ではありません。

国別構成比率



業種別組入比率



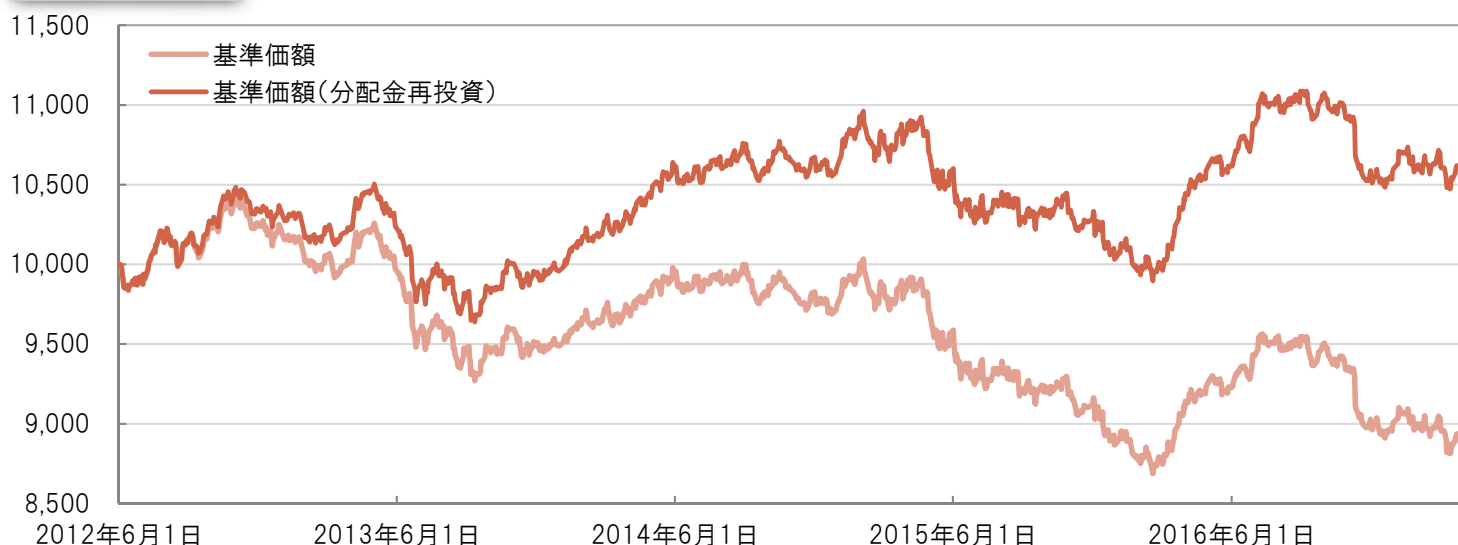
- ・国名は、BloombergのCountry of Riskの分類を採用しています。
- ・業種分類は、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドが債券の発行体企業(保証会社)について独自に分類したものです。その他は、米国国債等です。
- ・比率は現物債券評価額に対する割合です。なお、純資産総額に対する現物債券組入比率は為替ヘッジあり:96.21%、為替ヘッジなし:97.13%です。

■ 上記は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

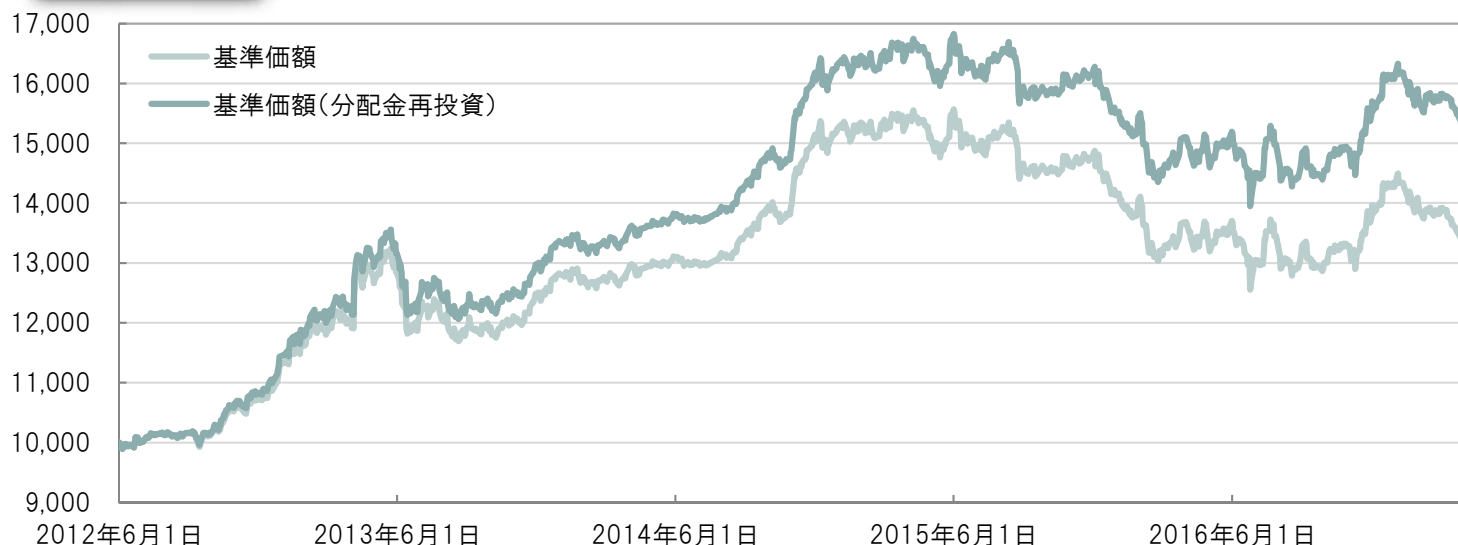
三菱UFJ/AMP グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジあり/為替ヘッジなし>(毎月決算型)
愛称:世界のいしずえ

当ファンドの基準価額(1万口当たり)の推移(期間:2012年6月1日(設定日)~2017年3月31日)

為替ヘッジあり



為替ヘッジなし



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、為替ヘッジありは設定日前営業日を、為替ヘッジなしは設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しています。

三菱UFJ/AMP グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)愛称:世界のいしずえ



Morningstar Award
“Fund of the Year 2016”
債券型 部門 優秀ファンド賞受賞

Morningstar Award “Fund of the Year 2016”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2016年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。債券型 部門は、2016年12月末において当該部門に属するファンド1,670本の中から選考されました。

■ 上記は、過去の実績・状況、作成時点での見通しまたは分析です。これらは、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託から分配金が支払われるイメージ

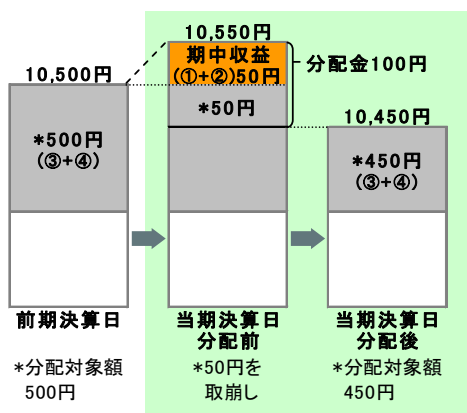


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

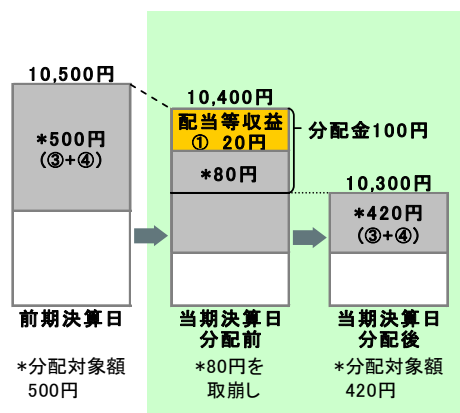
分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合



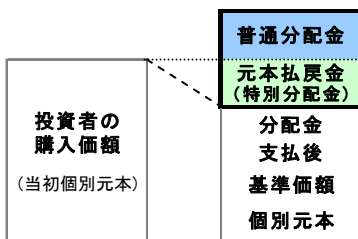
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金: 当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金: 追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

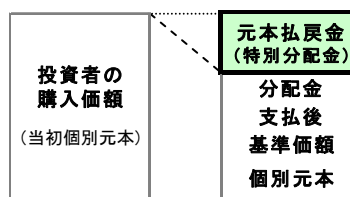
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体例は以下の通りです。販売会社によっては金額指定、口数指定どちらかのみのお取扱いになる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。

[金額を指定して購入する場合]

購入金額に購入時手数料を加えた額が指定金額となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

[口数を指定して購入する場合]

例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、購入時手数料=(10,000円÷1万口)×100万口×手数料率(税込)となり、100万円と購入時手数料の合計額をお支払いいただくこととなります。

三菱UFJ/AMP グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジあり/為替ヘッジなし>(毎月決算型)【愛称:世界のいしずえ】

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

世界のインフラ関連企業が発行する米ドル建て債券を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。

■ファンドの特色

投資対象 世界のインフラ関連企業が発行する米ドル建て債券等が実質的な主要投資対象です。

・インフラ関連企業とは、公益、通信、エネルギーおよび運輸等の日常生活に必要な不可欠なサービスを提供する企業をいい、当該企業が発行する米ドル建て債券等をインフラ債券といいます。

運用方法 債券への投資にあたっては、マクロ要因分析、業種分析、個別企業の財務・業務分析等の信用リスク分析に基づき、銘柄選定を行います。

・投資する債券は、原則として取得時においてBBB-格相当以上の格付けを取得しているものに限ります。
 ・デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。また、ファンドの流動性等を勘案して、一部、米国国債等に投資する場合があります。

運用の委託先 債券等の運用にあたっては、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。

為替対応方針 「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の2つのコースがあります。

・「為替ヘッジあり」コースは、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。
 ・「為替ヘッジなし」コースは、原則として為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。

■ファンドの仕組み

・運用は主にAMP グローバル・インフラ債券マザーファンドへの投資を通じて、世界の米ドル建てインフラ債券等へ実質的に投資するファミリーファンド方式により行います。

・各ファンド間でスイッチングが可能です。なお、スイッチングの際の購入時手数料は、販売会社が定めるものとします。また、換金するファンドに対して税金がかかります。販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行わない場合があります。詳しくは、販売会社にご確認ください。

■分配方針

・毎月の決算時(10日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。
 ・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。
 ・分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

| | |
|----------------|--|
| 価格変動リスク | 一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。 |
| 為替変動リスク | <p>■三菱UFJ/AMP グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジあり>(毎月決算型)</p> <p>組入外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。為替ヘッジを行う場合で円金利がヘッジ対象通貨建の金利より低いときには、これらの金利差相当分がヘッジコストとなります。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。</p> <p>■三菱UFJ/AMP グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)</p> <p>組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。</p> |
| 信用リスク | 組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。 |
| 流動性リスク | 有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。 |

■その他の留意点

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
 ・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ/AMP グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジあり/為替ヘッジなし>(毎月決算型)【愛称:世界のいしずえ】

手続・手数料等

■お申込みメモ

| | |
|-------------------|---|
| 購入単位 | 販売会社が定める単位/販売会社にご確認ください。 |
| 購入価額 | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。 |
| 換金単位 | 販売会社が定める単位/販売会社にご確認ください。 |
| 換金価額 | 換金申込受付日の翌営業日の基準価額 |
| 換金代金 | 原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から販売会社においてお支払いします。 |
| 申込不可日 | 次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ・ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、シドニーの銀行の休業日 ・ニューヨーク、シドニーにおける債券市場の取引停止日 ※具体的な日付については、委託会社のホームページ(「ファンド関連情報」内の「お申込み不可日一覧」)をご覧ください。 |
| 申込締切時間 | 原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。 |
| 換金制限 | ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。 |
| 購入・換金申込受付の中止及び取消し | 金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。 |
| 信託期間 | 2022年5月10日まで(2012年6月1日設定) |
| 繰上償還 | 各ファンドについて、受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合、または各ファンドの受益権の口数を合計した口数が30億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。 |
| 決算日 | 毎月10日(休業日の場合は翌営業日) |
| 収益分配 | 毎月の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。 |
| 課税関係 | 課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。 |

■ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用

| | |
|---------|--|
| 購入時手数料 | 購入価額に対して、 上限2.16%(税抜 2%) (販売会社が定めます) (購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。) |
| 信託財産留保額 | ありません。 |

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

| | |
|--------------|---|
| 運用管理費用(信託報酬) | 日々の純資産総額に対して、 年率1.296%(税抜 年率1.2%) をかけた額 |
| その他の費用・手数料 | 監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。 |

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。

なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会: 一般社団法人 投資信託協会
一般社団法人 日本投資顧問業協会

<ホームページアドレス> <http://www.am.mufig.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034

(受付時間 営業日の9:00~17:00)

●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

販売会社情報一覧表

ファンド名称:三菱UFJ/AMP グローバル・インフラ債券ファンド<為替ヘッジあり/為替ヘッジなし>(毎月決算型)

| 商号 | 登録番号等 | | 日本証券業 協会 | 一般社団法人 日本 投資顧問業 協会 | 一般社団法人 金融先物 取引業協会 | 一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会 |
|-----------------------|----------|------------------|-------------|-----------------------------|-------------------------|--------------------------------|
| 株式会社 SBI証券 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第44号 | ○ | | ○ | ○ |
| 株式会社 三菱東京UFJ銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長(登金)第5号 | ○ | | ○ | ○ |
| 三菱UFJ信託銀行株式会社 | 登録金融機関 | 関東財務局長(登金)第33号 | ○ | | ○ | |
| 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第2336号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 楽天証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第195号 | ○ | ○ | ○ | ○ |

【本資料で使用している指数について】

インフラ債券(ブルームバーグ・バークレイズ米国社債インデックスの公益、通信、エネルギー、運輸セクターの合成インデックス):
 ブルームバーグ・バークレイズ米国社債インデックスとは、ブルームバーグが算出する米ドル建ての投資適格社債の値動きを表す指数
 です。インフラ債券は同インデックスのサブインデックスの中から、公益、通信、エネルギー、運輸のセクターインデックスを時価総額加重
 平均し算出しています。